

創立72周年
令和4年度 7月号



咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



自然豊かな大正幼稚園

園長 北村 恵

観測史上最短の梅雨明けを迎え、今週は6月とは思えないほどの暑い日々が続いています。園庭に並んでいる、一人一鉢の親子栽培の野菜も、毎日の水やりが欠かせなくなってきました。

年長組が昨年末に植えたジャガイモと玉ねぎも立派に生長し、たくさん収穫できました。そこで、蒸かしジャガイモに塩をかけて全学級でいただきました。ぞう組は、大小様々なサイズのジャガイモを何度もお代わりしていました。やはり自分で掘り出した芋は格別の様です。ぞう組はさらにチャレンジして、玉ねぎを薄くスライスし塩水にさらしたものに、しょうゆとおかかをかけて食べました。食べられるかな、と心配しましたが、新鮮な玉ねぎのおいしさにあっという間に完食してしまいました。ぼんだ組の塩もみにしたキュウリも「おいしい！」「おかわり！」と大好評でした。7月もジャガイモと玉ねぎの味噌汁や、学級で育てているナスやピーマンなどが食べられそうです。自分たちで植え、毎日水やりをして育てた野菜を、新鮮なうちにいただく経験ができることは、とても贅沢なことだと思います。

今、各学級では生き物もたくさん増えてにぎやかです。先日私が出張に行った先の園でいただいたカタツムリの赤ちゃんや、園庭のビオラの花に大量に付いたツマグロヒョウモンの幼虫などの飼育ケースが並んでいます。ツマグロヒョウモンの幼虫は最初に見つけた年長児が「うわーなに、これ、げじげじ？」といったので、「ゲジゴウ」という名前と呼ばれていましたが、図鑑を調べてツマグロヒョウモンだと分かり、毎日のようにビオラの葉を入れて大切に育ててきました。さなぎは黒色なのですが、ピカピカと光る模様が付いていて宝石の様に見えます。先週の終わりから次々と羽化して子供たちを驚かせています。「きれい」「かわいいね」「おしっこしてる」(羽化するときには体液が出るのを見付けました)どの学級も子供たちと一緒に蝶を放し、「またきてね」「げんきでね」とじっと見送っています。別の日に園庭で見付けると「あの子かもね！」「蜜吸ってるね」と嬉しそうです。

ぼんだ組には、小学校の校庭のミカンの木で見付けた巨大な青虫もいます。ずっと黒いままでなかなか緑にならないので心配していましたが、どうやら普通のアゲハ蝶ではなさそうです。さなぎになるのにももう少し時間がかかりそうです。子供たちはどんな蝶になるのか楽しみにしています。

絵本コーナーに置いてある鈴虫もたくさん卵から生まれてきていて、通りかかった子供たちがじっと眺めています。

生き物も植物も野菜も、成長する姿はどうしてこんなにワクワクするのでしょうか。こんな素敵なワクワクを体験できる幼稚園の環境が本当に幸せだと感じます。子供たちにはたくさん自然に触れ五感を十分に働かせてほしいと願っています。